

安全（安全の手引）

事故及びヒヤリ・ハット報告(概略) 令和4年度(30件)の事故など例

□実験中やその他の作業での事故など

有害物(薬品ほか)や高温・低温物との接触

- ・ドラフトチャンバー内において2%フッ酸を扱っている際、誤ってフッ酸の入っているビーカーを倒してしまい、トレイ内にフッ酸溶液がこぼれた。念のため、水で流し、グルコン酸カルシウムを塗布し SDS 持参の上病院を受診した。

火災、破裂

- ・電気炉を使用した実験中、電源タップから発火し周囲に燃え移った。消火器で消火した。
- ・管状炉を用いて試料の熱分解実験(350℃)を行った後、温度が低下してから、実験装置である石英製管の内部をキムタオルで掃除し、キムタオルをプラスチック製ごみ箱に廃棄し退室したところ、約2時間後に発煙し、EMセンターに連絡して担当者が消火した。
- ・ドラフトチャンバー内において、反応容器を使用し、酸塩化物を得る反応(溶液量:約5mL)を行っていたところ、反応開始から約1時間後、反応容器が破裂し、使用していたガラス製オイルバス及びドラフトチャンバーの前面扉が破損した。

けが

- ・大型実験装置に試料を入れるため踏み台に乗ったところ、踏み台が不安定であったため落下した、右腕、右足・打撲。
- ・工作台の椅子に座った際、工作台下段の棚に保管されていた金属板の角が左膝にあたり左膝・切創した。

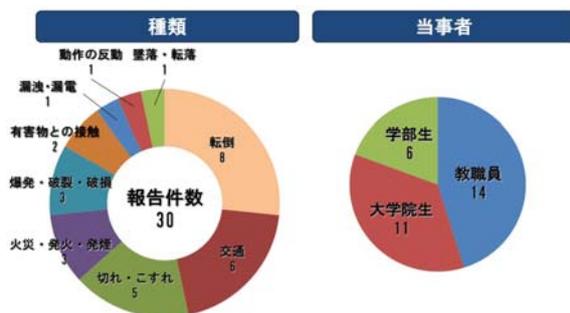
その他

- ・クレーン作業中、荷の下の挟まった吊り具を回収するため鉄骨を持ち上げようとした際に腰を痛めた。

□交通事故など

- ・学外実習のため自転車で移動中、トートバッグが肩から外れて前輪に挟まり、前輪がロックしたため転倒、左頬・擦傷。
- ・バイクで通学途中、信号が黄色に切り替わったためやや強めの制動で停車したところ、後続車が停車しきれず追突され、左膝、右尻・擦り傷、打ち身。
- ・自動車で帰宅途中、赤信号で停車していたところ、後続車に追突された、首後方・むち打ち症。
- ・桂キャンパスにおけるクラスター間を自転車で移動中、歩道が途切れた部分でハンドルがとられ転倒した、前歯・一部欠損、下顎・口内の裂傷、全身・擦過傷。
- ・バイクで帰宅するためロータリー内を走行中、タイヤが滑り転倒、右膝・擦過傷。
- ・通勤途中、自宅マンション階段で転倒し、左足首・捻挫。
- ・学会参加後にホテルに帰る途中、横断歩道を横断している際に右折車によりはねられ転倒し負傷、左肘、左腰部・打撲。

事故ヒヤリハット報告(2022年度)



	事象	
	事故報告 [怪我あり、 または物損あり]	ヒヤリハット報告 [怪我・物損なし、 または軽傷]
平成25年度	36件	10件
平成26年度	20件	7件
平成27年度	19件	8件
平成28年度	17件	9件
平成29年度	17件	9件
平成30年度	28件	6件
令和元年度	21件	8件
令和2年度	14件	3件
令和3年度	14件	1件
令和4年度	24件	6件

安全の手引

○実験など作業を行う場合、あらかじめ参照する事

* 学生教育研究災害障害保険制度 (安全の手引き、附録-1 参照)